



京放技ニュース

9 / 2021
(通算736号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

コミュニケーションについて改めて

京都府放射線技師会 副会長 原口 隆志

新型コロナウイルス感染症の第5波による感染者の急拡大もあり、今尚多くの人々が苦しみ、我々医療従事者も対応に追われる中、どの様になれば平常に戻ったと言えるのかわからなくなっているようにも思い、心配しております。

また、昨今より続く豪雨で、全国においても相当な被害が出ておりお見舞いを申し上げる次第です。

さて、この様な状況のなか多くのイベントやセミナーは延期や中止になる状況が続いています。この未曾有の事態を通じて、仕事のコミュニケーションにおいては一気にオンライン化が進み、イベントにおいてもオンラインイベントの数が劇的に増え、我々の働き方にも大きな変化をもたらしています。

「少し調べてみますと以下のような記述をされている記事がございました。

新型コロナショックは、コミュニティを分断し、オフラインのコミュニケーションを困難にする大変な事態となっています。しかし、今回の事態の中で、ある種強制的にもたらされたオンラインコミュニケーションの良い面が、オフラインコミュニケーションと組み合わせることで、コミュニケーションの形が進化し、将来的にコミュニティ醸成において重要な意味を持つようになるのではないかと考えています。例えば、今まで、オフラインで活動していた場合、自分たちが活動している場所に物理的に集まれる人がコミュニティメンバーの中心だったと思います。そこにオンラインでのコミュニケーションが加わることにより、遠くの人でも、活動に関与することが出来る様になり、コミュニティが多様になります。今までもオンラインでのコミュニケーションを活用するコミュニティはありましたが、今後はオンラインコミュニケーションを活用できるコミュニティが間違いなく増えていくと思います。

「オフライン」コミュニケーションは、実際に会うことによりお互いに取得出来る情報が多くなります。その分、お互いの想いや考え、空気感を把握する事が出来、理解が深まりやすくなります。しかし、実際に会う必要があるため、コミュニケーションを取れる頻度には制限が掛かってしまいます。一方、「オンライン」コミュニケーションは、お互いがいる場所に関係なく取ることが出来るので、コミュニケーションの頻度は増ややすくなります。ただし、直接会う事と比較すると、お互いの温度感など、取得できる情報は少なくなります。

今はまだ、新型コロナショックの渦中であり、多くの人が試行錯誤しながら動いている状況です。こうした動きの中から、さらに新しいコミュニケーションの形が生まれていくでしょう。」

とは言うものの私といたしましては会員の皆様と直接交流を図る事が出来るようになることを切に願っておる所でございます。

そのような中、技師会といたしましても様々な活動を行っていますので、京放技ニュースや当会ホームページ等の情報を共有して頂きたいところでございます。

その中の重要事項の一つに、「告示研修」が始まったことがあります。義務研修であることもありますので、必ず受講の程宜しくお願い申し上げます。

MRI 臨床 Web セミナー（第 583 回研修会、会員限定）

学術理事 中川 政幸

一昨年とても好評だった、診療放射線技師による MRI 臨床セミナーを開催します。
多くの方々の参加をお待ちしています。

日時：令和3年9月16日（木）19:00～19:30（18:50より入室可能）

開催場所：Web セミナー（Microsoft Teams）

「腫瘍の再発を疑う症例の MR 画像」

講師：京都大学医学部附属病院 放射線部 長尾泰輔

参加方法

- ・下記の QR コードより参加登録を行っていただきます。
（技師会ホームページにリンクあり）。
- ・開催日間近になると、登録したメールアドレスに入室アドレスが届きます。
- ・開催時にアクセスして、施設名、お名前を入力していただき、入室となります。
- ・参加時は各自のマイク、カメラは OFF にしていただき、質問はチャットにてお願いします。

注意事項

- ・講演内容の撮影、録画、録音、二次使用を禁止いたします。
- ・Web 開催の学術活動は会員限定にて開催します。
- ・これからの Web での学術活動は、Microsoft Teams を用いることを基本としますので、予めアプリを PC にインストールしてください。（スマホからでも参加できます）
- ・今回参加登録していただくと、次回開催時には参加登録していただかなくても、登録アドレスに参加方法が届くようになります。（令和3年度末まで有効、年度が変わるごとに登録が必要です）

Web セミナー申し込みサイト

<https://forms.gle/vX82nmTY3MvcHBk27>



「第56回京都病院学会」開催のお知らせ

広報・渉外担当理事 三浦 健一

毎年恒例の京都病院学会(京都私立病院協会・京都府病院協会主催)を、10月24日(日)～11月28日(日)で開催します。大会初日のみ基調講演・特別講演・要望演題・継続演題をハイブリット開催(京都経済センター)いたします。放射線部門を含む一般演題はオンライン配信形式で行います。

昨年同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの人が密集する環境を避けるべく、Webを活用した学会を実施することといたしました。本学会に関わる方への感染防止に配慮し、慎重に検討した結果、このような方針となりましたことを何卒ご理解賜りますようお願い致します。

Webサイトの閲覧方法・閲覧期間などはホームページをご参照ください。

京都私立病院協会のHP「<https://www.khosp.or.jp/society/>」

お問合せに関しては下記事務局までお願いします。

京都病院学会事務局 075-354-8838(直通)までお問い合わせください。

「診療放射線技師法改正に伴う告示研修」について

令和3年5月21日 国会で診療放射線技師法の改正案が含まれた「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が成立しました。それに伴い告示研修(令和3年厚生労働省告示第273号研修:厚生労働大臣が指定した公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修)のうち基礎研修が7月31日から開始され、既に約7,000名の方が受講申し込みされています。なお、実技講習は2021年10月以降の開始が予定されており、基礎研修受講終了後、実技講習の申込が可能となりますので早めの基礎研修受講がお勧めです。

詳細・申込みは下記のリンクからご確認ください。

公益社団法人 日本診療放射線技師会 HP

<http://www.jart.jp>

また、京都府放射線技師会 HP からアクセス可能です。

公益社団法人 京都府放射線技師会 HP

<http://www.kyohogi.jp>

事務所休みのお知らせ

令和3年9月18日（土）から9月26日（日）の1週間は事務職員不在となります。
メールは随時確認可能ですので、
お急ぎのご用件は、kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp までご連絡をお願いします。

編集後記

東京2020オリンピックが閉幕し、パラリンピックの開催が近づく中、またしても緊急事態宣言が発令されることとなった、もちろん必要理由は明確で、京都府の一日の新規新型コロナウイルス感染症患者は400人を超え、総計24,000人となった。また、京都府医師会も「医療崩壊の可能性」についての声明を出すという、まさに緊急事態である。コロナ患者を受け入れられている病院ではここ最近、病床の逼迫を感じられている事と思います。CTやポータブル撮影に日頃から従事されている技師の皆様、ご苦労されていることと思いますが、慣れる事なく基本に帰り安全に留意され日常業務頑張ってください。

私事で恐縮ですが、先日義父が他界しました。約半年前より入院し、結局一度も面会できる事なく、病院より連絡を受けました、もちろん当院でも面会制限があり、このご時世仕方がないことは理解しているつもりですが、やはり本人もその家族も寂しいお別れとなりました。葬儀も粛々と家族と一部の親戚で済ませ、火葬場へも人数制限をかけられ厳かにお見送りしました。「死に目にも逢えない不幸者」と以前聞いていた気がしますが、現在は「死に目にも逢えないのは普通」とは寂しい実情を実感しました。合唱

編集委員会 平井 靖

▶9月以降の日放技・京放技活動、その他学会等

9月16日

MRI 臨床 Web セミナー（第583回研修会）

10月24日～11月28日

第56回京都病院学会（初日ハイブリッド、その後 Web）

11月12日～11月14日

第37回日本診療放射線技師学術大会（東京ビッグサイト）

▶会員異動

【新卒入会】3名

【転出】2名